

港区人口推計（令和6年3月）について

1 前提

区の人口は、平成8年以降の一貫した増加傾向から一転して、令和2年6月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因すると思われる減少傾向となっていました。

しかしながら、令和4年2月からは再び増加傾向となり、同傾向が継続していることから、アフターコロナの社会情勢を踏まえた、今後の動向の見極めが必要です。

本推計は、直近の人口動向及び社会経済情勢を分析し、令和6年1月1日を基準日とした推計値を算出したものです。

2 港区の将来人口推計

令和6年1月1日を基準日とした推計結果は以下のとおりです。

なお、令和5年度以前に実施した推計との比較結果は別紙に掲載しています。

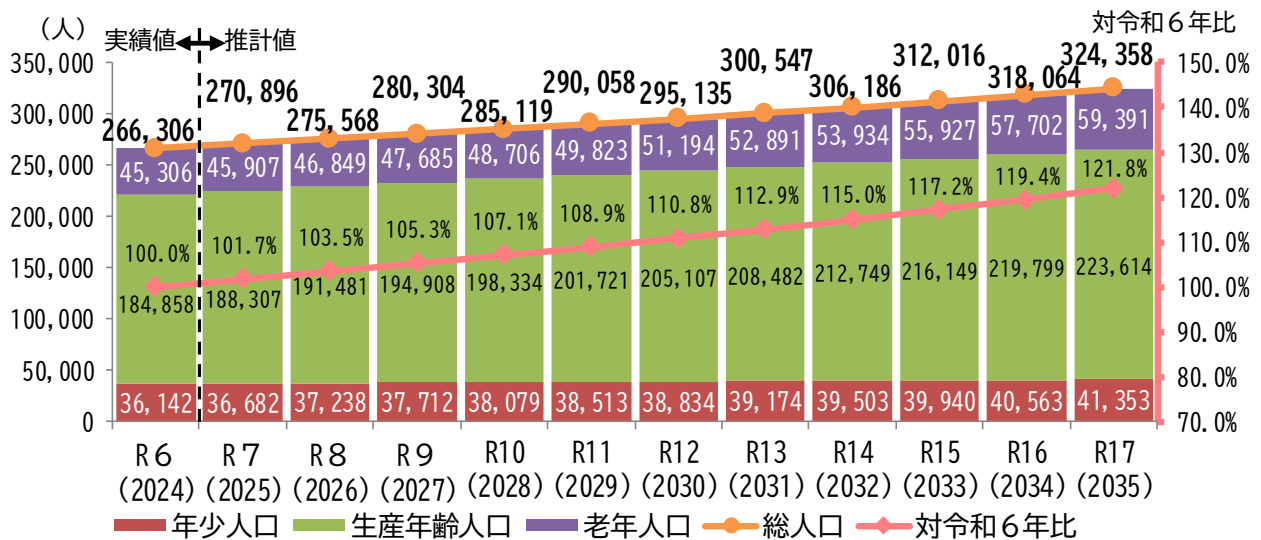
※記載の数値は、端数を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

(1) 推計結果

ア 総人口（日本人+外国人）

総人口は、令和5年以降増加傾向が継続し、令和17年には324,358人となる見込みです。

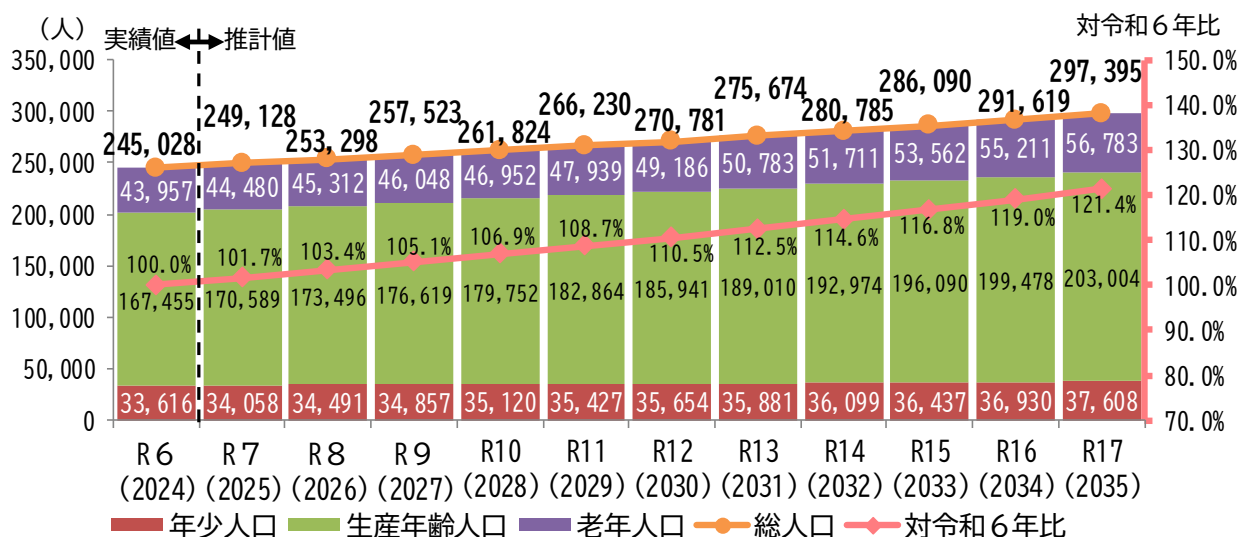
総人口（日本人+外国人）の推計結果



イ 日本人

日本人の人口は、令和5年以降増加傾向が継続し、令和17年には297,395人となる見込みです。

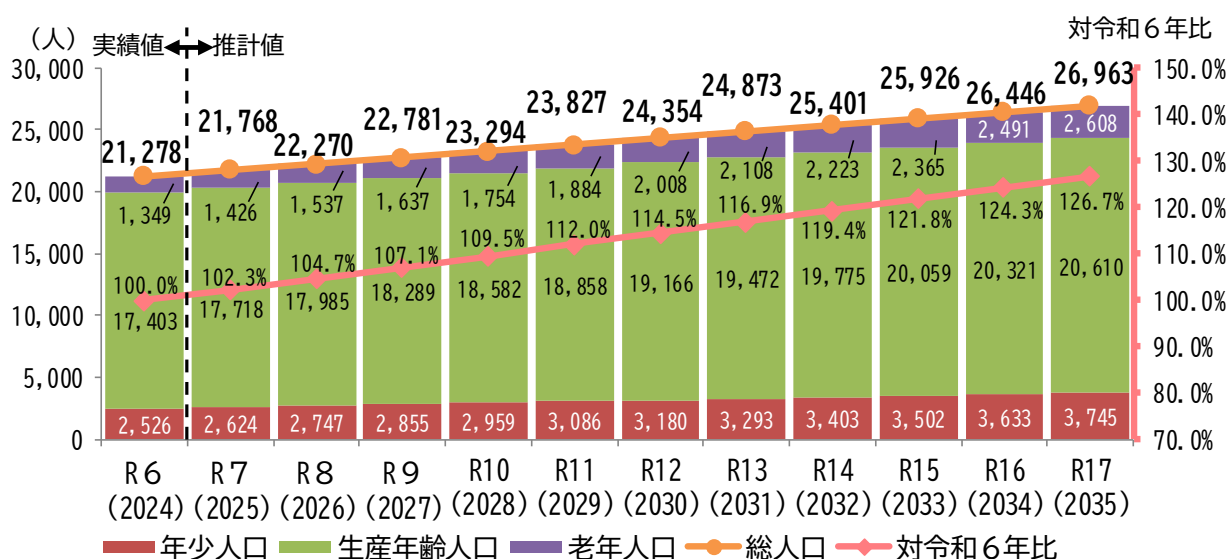
日本人の推計結果



ウ 外国人

外国人の人口は、令和5年以降増加傾向が継続し、令和17年には26,963人となる見込みです。

外国人の推計結果

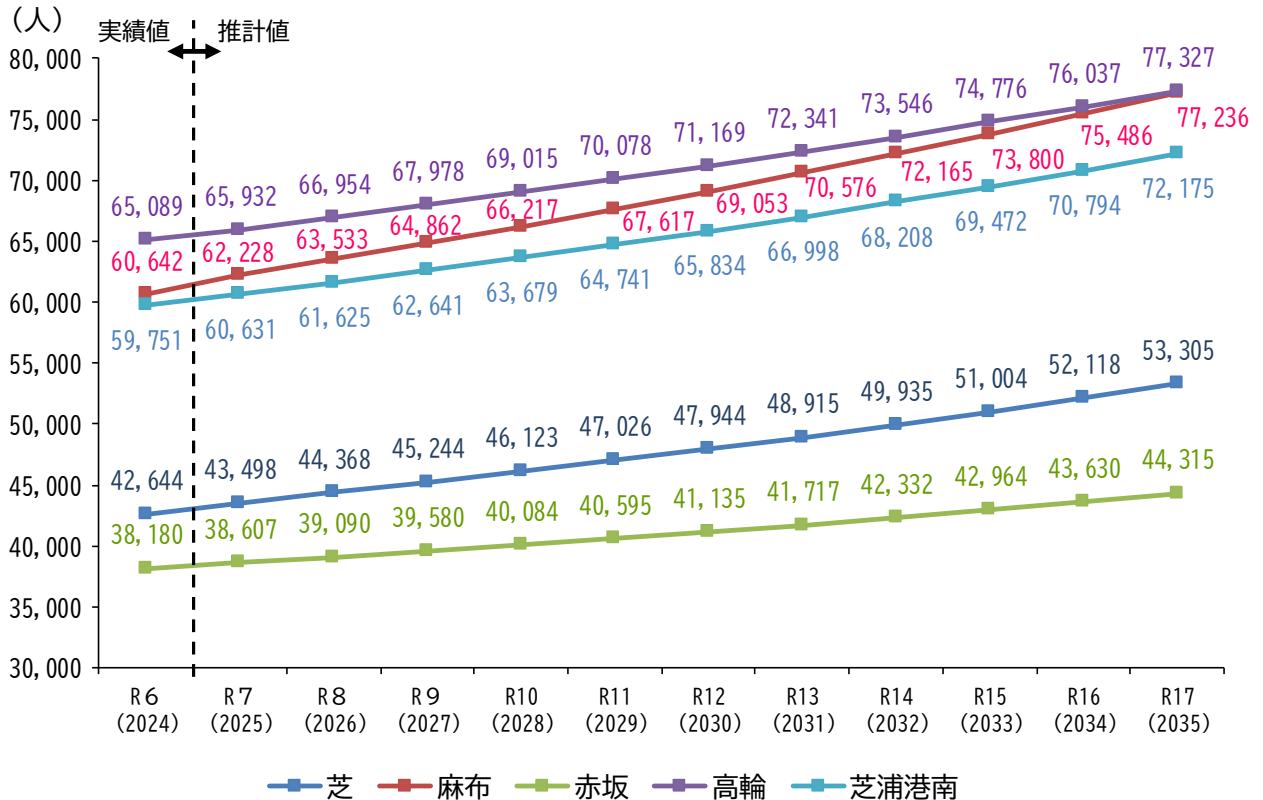


(2) 5地区の推計結果（日本人+外国人）

地区別の将来人口は、区全体と同様に、令和5年以降増加傾向が継続すると見込んでいます。

令和17年には、高輪地区が77,327人で最も多く、次に麻布地区が77,236人、芝浦港南地区が72,175人、芝地区が53,305人、赤坂地区が44,315人となる見込みです。

5地区別の人口（日本人+外国人）の推計結果

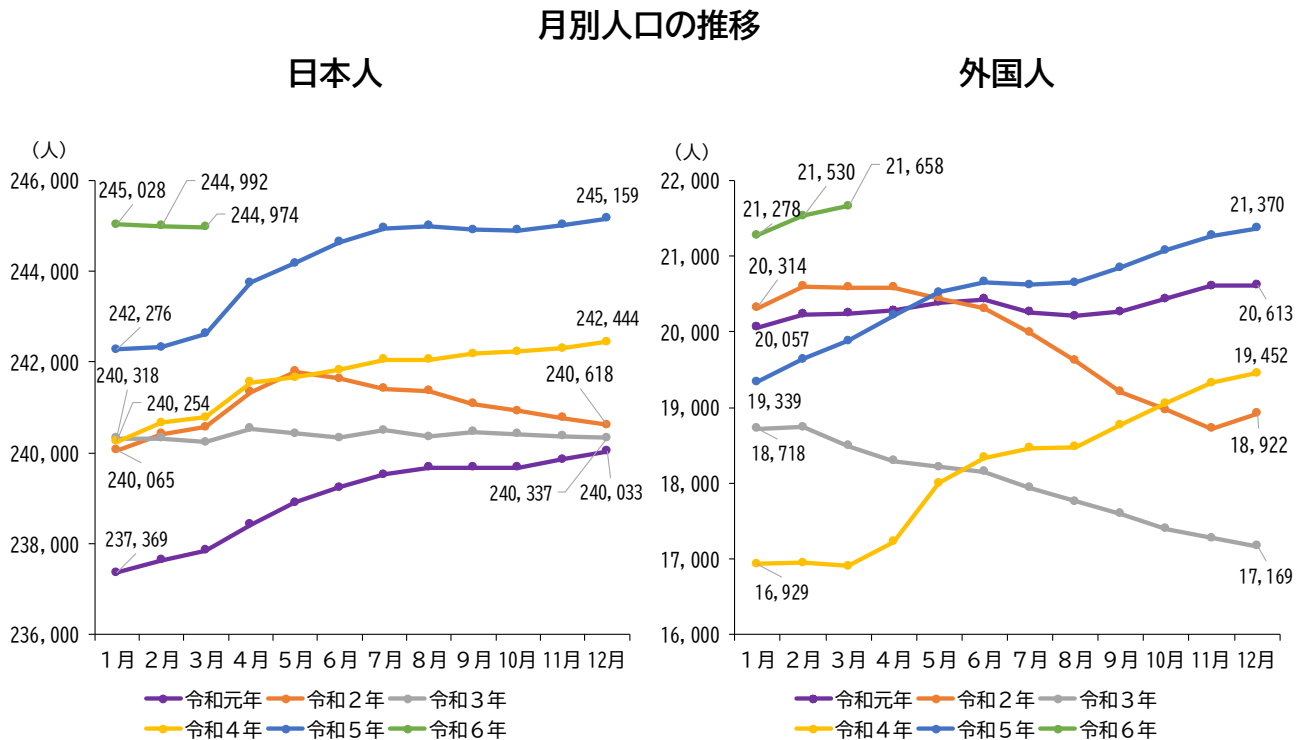


3 区を取り巻く現状

(1) 人口動向

日本人の人口は、令和4年2月から増加傾向に転じており、令和5年は、令和4年を上回る水準で増加しています。

外国人の人口は、令和4年4月から6月にかけて大幅に増加し、その後一部増加が落ち込んだ月があるものの、引き続き増加傾向となっています。

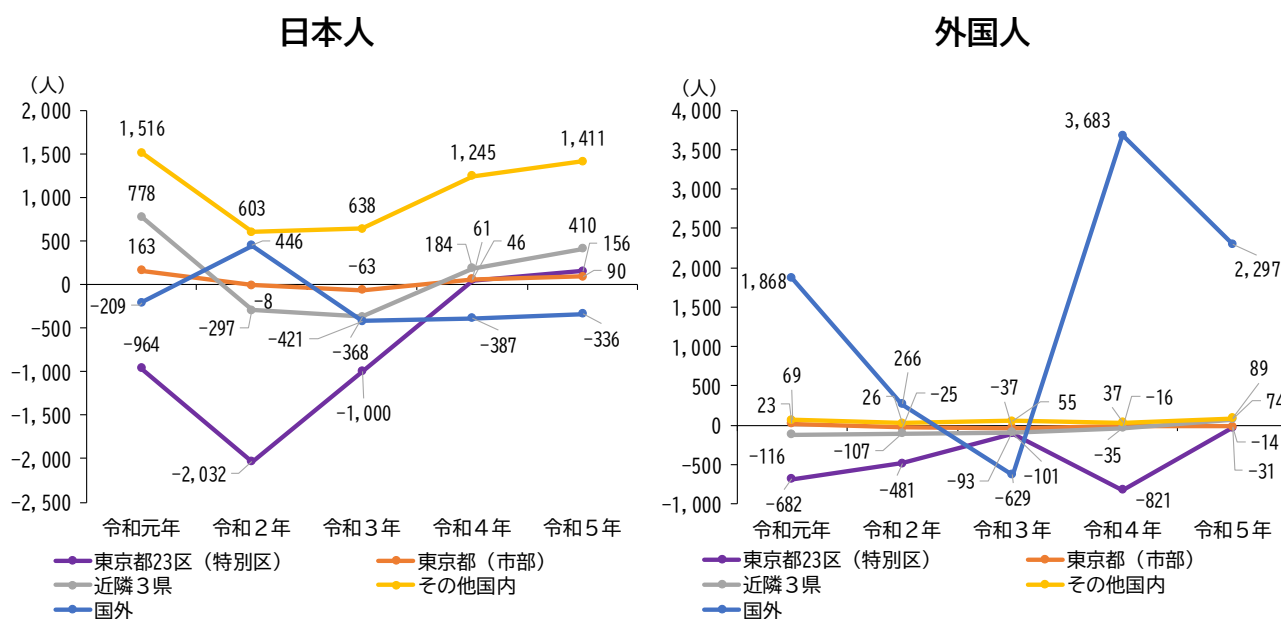


(2) 転出入動向

地域別の転入超過数に着目すると、日本人はコロナ禍の令和3年と比較して増加傾向が継続しており、特に特別区、近隣3県（神奈川県、埼玉県及び千葉県）及びその他国内（特別区、東京都市部及び近隣3県を除く道府県）において増加しています。

外国人について、国外を対象とした転入超過数は令和4年と比較すると減少しているものの、令和5年も引き続き大幅な転入超過となっており、コロナ禍前の水準を上回っています。また、特別区間の転入超過数は、令和4年にマイナスとなっていましたが、令和5年には増加しています。

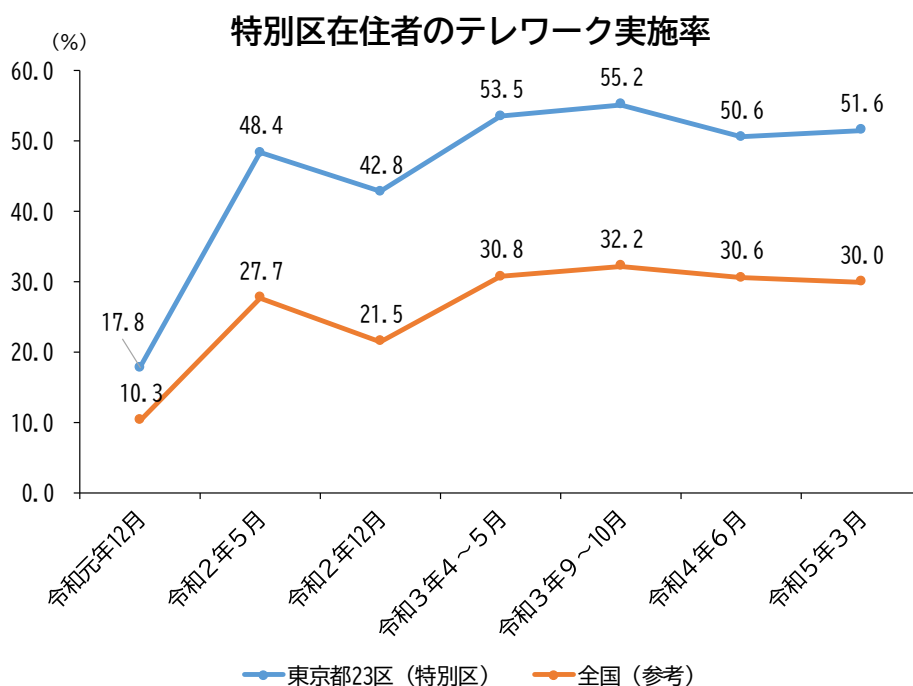
地域別の転入超過数の推移



出典：住民基本台帳より作成（「行政情報分析基盤システム」を活用）

(3) テレワーク実施率

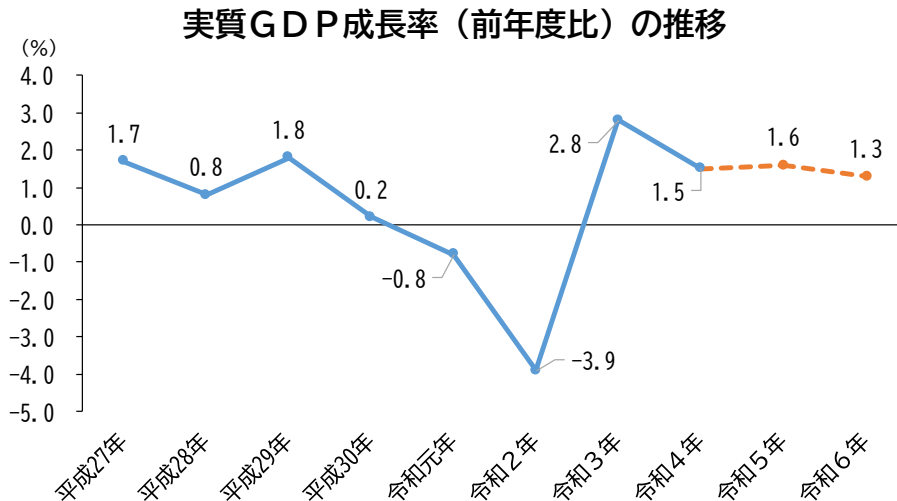
内閣府「第6回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」によると、令和5年3月時点において、都心区からの転出要因になると考えられるテレワークの実施率は、特別区在住者において約半数となっています。



出典：内閣府「第6回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和5年4月）より作成

(4) 経済動向

経済動向について、実質GDP成長率を見ると、直近の実績は令和4年度が1.5%のプラス成長であり、内閣府が令和5年12月21日に公表した「令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、令和5年度及び令和6年度ともにプラス成長するものと見通しています。



出典：内閣府「国民経済計算（統計）」及び「令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」より作成

4 推計手法

(1) 基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降の港区人口推計では、景気動向と人々の感染症に対する意識が、区の人口に多大な影響を及ぼしており、将来的にこれらが好転することによって、人口は再び増加傾向に転じるものとしていました。

令和5年は各地でイベントが対面で開催されるなど、人々の活動が徐々に再開し、水際対策が緩和され、5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類へ移行されました。法律に基づいた外出自粛の要請がなくなり、感染症対策は個人の判断に委ねられるなど、コロナ禍が収束に近づいています。

コロナ禍が収束に近づくに従って、日本人、外国人ともに転入超過数は増加傾向にあり、令和6年1月1日時点において、新型コロナウイルス感染症拡大前を上回る人口水準となっています。国内の経済動向も、令和3年に引き続きプラス成長の見込みとなっており、人々の動きは、確実にコロナ禍前に戻りつつあると言えます。

以上を踏まえ、これらの傾向が今後も継続するものと見込み、本年の推計では、令和7年以降においても引き続き人口増加が続くものと推計しました。

(2) 具体的な推計内容

将来人口の算出においては、これまでの港区人口推計と同様に、日本人と外国人の傾向に着目した上、次のように推計しました。

ア 日本人

令和5年における日本人の人口は、コロナ禍前の増加傾向に回帰し、令和6年1月1日時点において、コロナ禍前を上回る人口水準となっています。

また、転入超過数は、コロナ禍の令和3年と比較して増加傾向が継続しています。

これを踏まえ、日本人は、令和7年以降、コロナ禍前に準拠した増加傾向が継続すると推計しました。

イ 外国人

外国人の人口は、令和4年4月から6月にかけて大幅に増加し、その後一部増加が落ち込んだ月があるものの、引き続き増加傾向となっており、日本人と同様に、令和6年1月1日時点において、コロナ禍前を上回る人口水準となっています。

また、国外を対象とした転入超過数は令和5年も引き続き大幅な転入超過となっていることに加え、特別区間の転入超過数は、令和4年にマイナスとなっていましたが、令和5年には増加しています。

これを踏まえ、外国人は、令和7年以降、コロナ禍前に準拠した増加傾向が継続すると推計しました。

(3) 推計における各種動向の想定一覧

本推計では、前述(1)及び(2)の考え方を踏まえ、社会増減要因、自然増減要因、大規模開発動向等について以下のとおり想定しました。

推計における各種動向の想定一覧

項目		内容
社会増減要因 (転出・転入)	日本人	平成25年1月1日から平成30年1月1日までににおける増加傾向の純移動率を使用した。
	外国人	平成28年1月1日から令和2年1月1日までににおける増加傾向の変化率を使用した。
自然増減要因 (日本人のみ)	出生	令和2年から令和4年にかけて、出生数及び妊娠届出件数は、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して減少傾向にあり、感染症によって妊娠を控えた結果であると想起される一方、令和5年以降、人々の動きは、確実に感染症拡大前に戻りつつあると言えることから、今後は従前の傾向に回帰するものとした。 また、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」では、従来15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比として算出していた子ども女性比を、今回の推計では20～44歳女性人口に対する0～4歳人口の比として算出していることから、本推計でも同様の年齢幅で推計した。
	死亡	過去数年間と比較して死亡数が大幅に増加している傾向は見られないことから、従来と同様の手法で算出した。
大規模開発(日本人のみ)		開発に係る区への各種届出や事業者ホームページ等で確認したところ、一部竣工予定日の変更等はあったものの、全体の傾向に大きな変更は見られなかったことから、従来と同様の手法で算出した。
コロナ禍収束の影響		令和5年3月の推計では、テレワークの普及等に起因する地方移住志向の高まりが区の人口動向に影響を与えていると仮定し、転出及び転入による社会移動のうち、特別区を除く国内を対象としたものについて、新型コロナウイルス感染症の拡大以降における増減の傾向が、感染症の収束後も一定程度残るものとしていた。 令和5年3月時点において、テレワーク実施率はコロナ禍と同傾向であるものの、コロナ禍前と比較して、港区と東京都外の間での転入超過数は増加している。 今後の動向を注視する必要があるが、転入超過状況を鑑み、従前の増加傾向が継続すると推計した。

過年度との比較検証【港区人口推計（令和6年3月）】

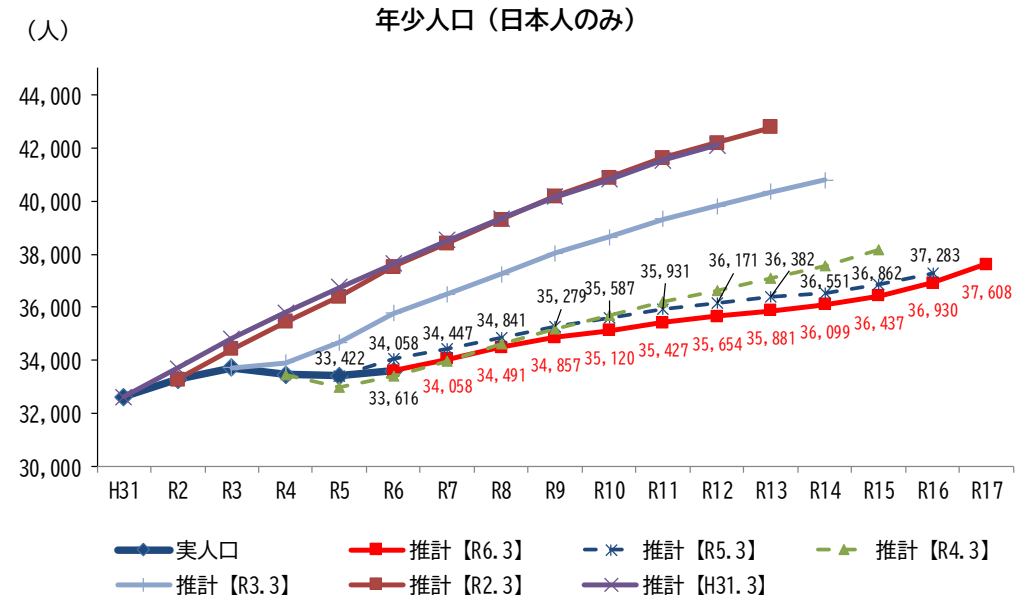
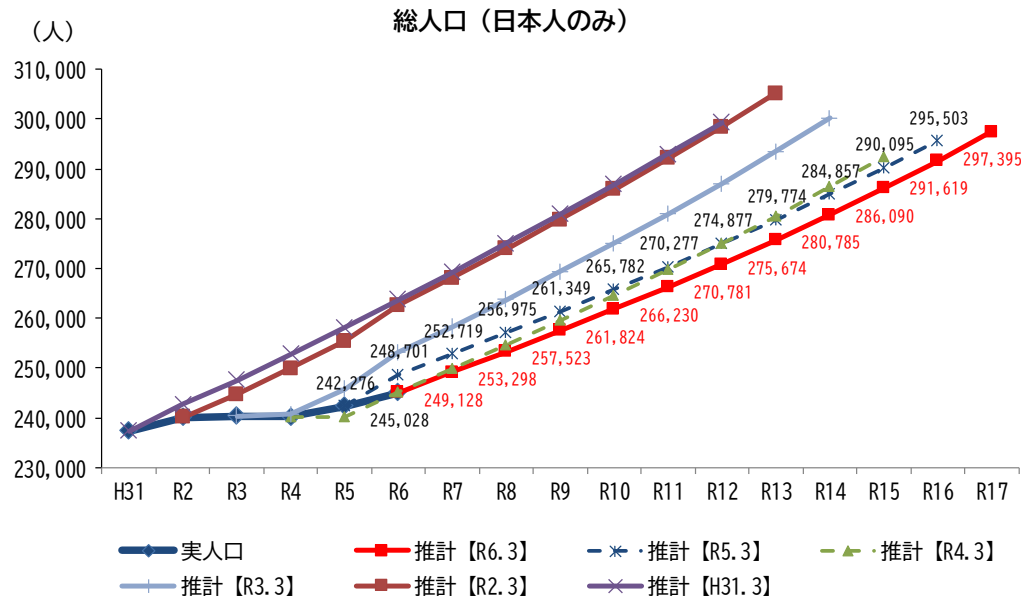
1 日本人の推計結果

(1) 総人口

注：推計人口の基準人口は、各年1月1日

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	237,369	240,065	240,318	240,254	242,276	245,028			
推計【R6.3】						245,028	249,128	253,298	257,523
推計【R5.3】					242,276	248,701	252,719	256,975	261,349
推計【R4.3】				240,254	240,091	245,249	249,785	254,630	259,547
推計【R3.3】			240,318	240,737	245,781	253,127	258,287	263,726	269,299
推計【R2.3】		240,065	244,692	249,932	255,422	262,658	268,127	273,906	279,800
推計【H31.3】	237,369	242,659	247,575	252,729	258,175	263,675	269,221	274,982	280,846

	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
	261,824	266,230	270,781	275,674	280,785	286,090	291,619	297,395
	265,782	270,277	274,877	279,774	284,857	290,095	295,503	
	264,558	269,672	274,937	280,534	286,358	292,391		
	275,015	280,883	286,943	293,395	300,117			
	285,829	292,009	298,392	305,175				
	286,834	292,962	299,289					



イ 生産年齢人口

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	161,925	163,758	163,487	163,537	165,460	167,455			
推計【R6.3】						167,455	170,589	173,496	176,619
推計【R5.3】					165,460	170,446	173,429	176,357	179,447
推計【R4.3】				163,537	163,746	167,799	171,101	174,396	177,852
推計【R3.3】			163,487	163,353	167,225	172,794	176,517	180,371	184,290
推計【R2.3】		163,758	166,933	170,757	174,912	180,349	184,329	188,357	192,546
推計【H31.3】	161,925	165,818	169,233	172,961	177,067	181,052	185,046	189,092	193,253

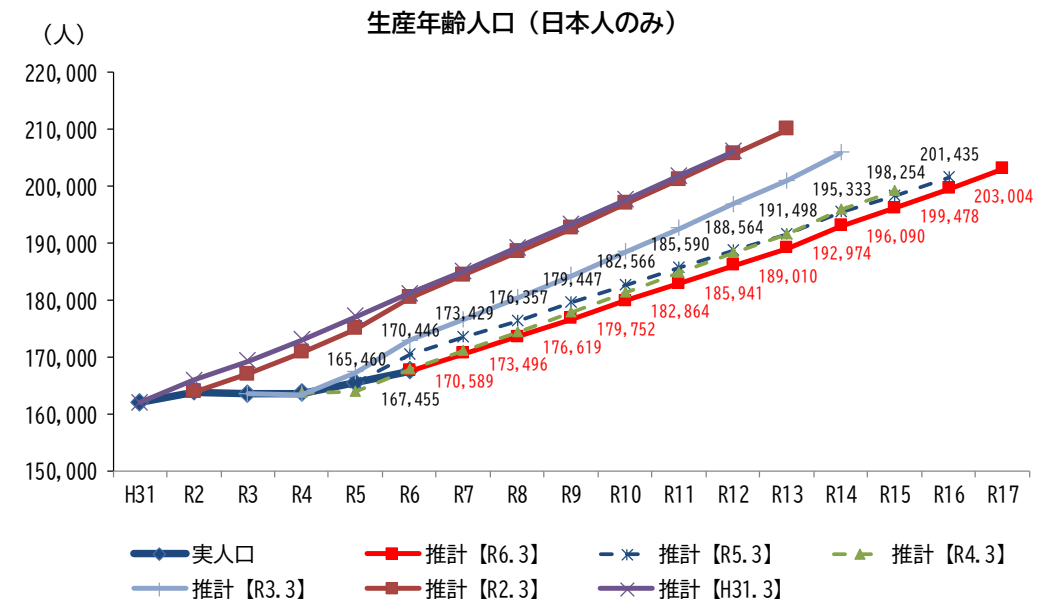
	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
	179,752	182,864	185,941	189,010	192,974	196,090	199,478	203,004
	182,566	185,590	188,564	191,498	195,333	198,254	201,435	
	181,337	184,801	188,225	191,584	195,808	199,154		
	188,426	192,502	196,707	200,866	205,781			
	196,824	201,136	205,517	209,897				
	197,525	201,729	205,999					

(2) 3区分人口

ア 年少人口

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	32,640	33,291	33,714	33,477	33,422	33,616			
推計【R6.3】						33,616	34,058	34,491	34,857
推計【R5.3】					33,422	34,058	34,447	34,841	35,279
推計【R4.3】				33,477	32,991	33,409	33,984	34,609	35,202
推計【R3.3】			33,714	33,907	34,670	35,767	36,506	37,246	38,043
推計【R2.3】		33,291	34,413	35,439	36,402	37,530	38,407	39,307	40,174
推計【H31.3】	32,640	33,700	34,822	35,805	36,750	37,632	38,529	39,349	40,152

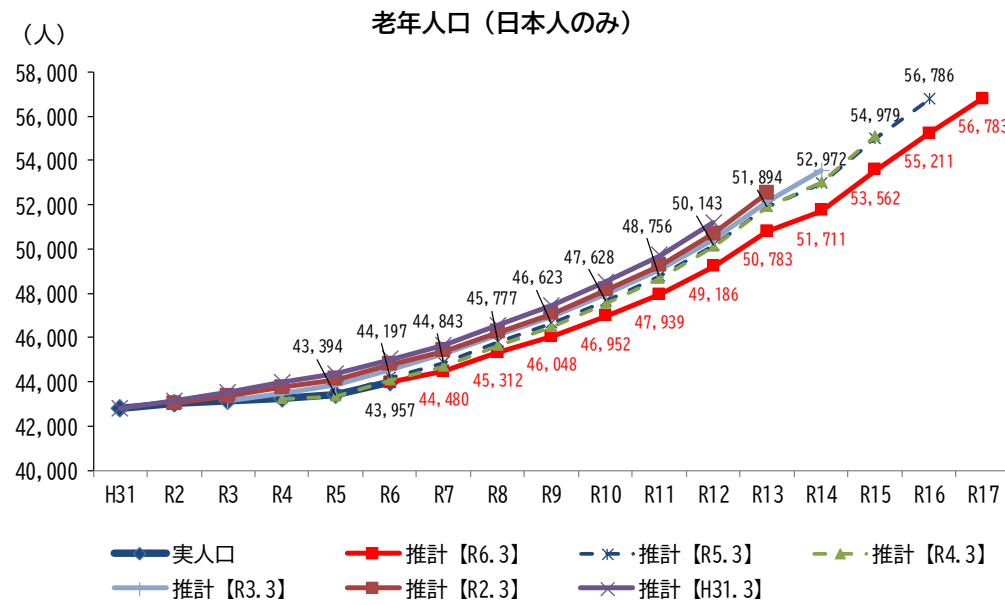
	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
	35,120	35,427	35,654	35,881	36,099	36,437	36,930	37,608
	35,587	35,931	36,171	36,382	36,551	36,862	37,283	
	35,677	36,196	36,629	37,074	37,540	38,160		
	38,649	39,319	39,815	40,352	40,795			
	40,883	41,618	42,187	42,760				
	40,806	41,532	42,097					



ウ 老年人口

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	42,804	43,016	43,117	43,240	43,394	43,957			
推計【R6.3】						43,957	44,480	45,312	46,048
推計【R5.3】					43,394	44,197	44,843	45,777	46,623
推計【R4.3】				43,240	43,354	44,041	44,700	45,624	46,493
推計【R3.3】			43,117	43,478	43,886	44,566	45,264	46,108	46,967
推計【R2.3】		43,016	43,346	43,735	44,108	44,779	45,391	46,241	47,080
推計【H31.3】	42,804	43,140	43,520	43,963	44,358	44,991	45,647	46,541	47,441

R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
46,952	47,939	49,186	50,783	51,711	53,562	55,211	56,783
47,628	48,756	50,143	51,894	52,972	54,979	56,786	
47,544	48,675	50,082	51,877	53,010	55,077		
47,940	49,062	50,421	52,177	53,541			
48,122	49,255	50,687	52,518				
48,503	49,701	51,193					



2 開発人口の把握

(1) 過去の入居状況の把握棟数

令和6年推計：138 物件（40,907 人分） 令和5年推計：131 物件（37,636 人分）
 ※過去の50戸以上の集合住宅への入居状況（男女別・各歳別）を基に、将来の大規模集合住宅の入居状況を推計しています。

※住民登録率の区平均(世帯)：68.7% 転入率の区平均(人)：66.4% 平均世帯人員：1.95 人

(2) 確定開発・想定開発

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
開発戸数【R6.3】	2,070	1,286	1,085	1,085	1,085	1,085	1,085	1,085
開発戸数【R5.3】	3,842	986	986	986	986	986	986	986
差 (R6 - R5)	-1,772	300	99	99	99	99	99	99

R13	R14	R15	R16	R17
1,085	1,085	1,085	1,085	1,085
986	986	986	986	
99	99	99	99	

注：斜体文字は、想定開発

想定開発の算出根拠

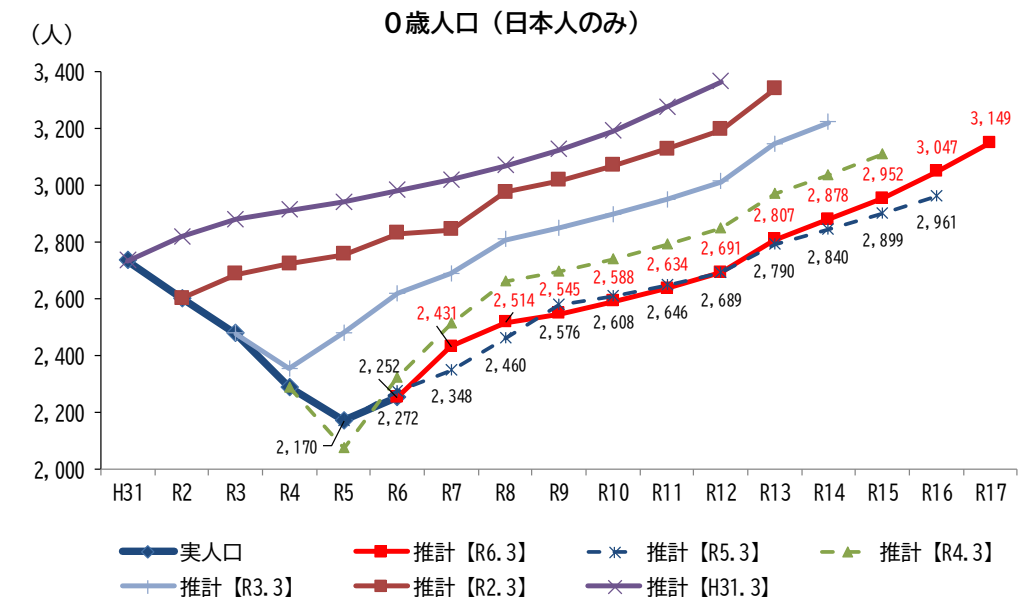
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
開発戸数	1,222	1,847	768	1,188	539	802	1,048	370	641	1,428	2,070

平均約1085戸

3 0歳人口（日本人のみ）

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	2,732	2,601	2,476	2,286	2,170	2,252			
推計【R6.3】						2,252	2,431	2,514	2,545
推計【R5.3】					2,170	2,272	2,348	2,460	2,576
推計【R4.3】				2,286	2,071	2,322	2,512	2,660	2,696
推計【R3.3】			2,476	2,352	2,479	2,618	2,686	2,806	2,849
推計【R2.3】		2,601	2,684	2,722	2,754	2,828	2,841	2,973	3,016
推計【H31.3】	2,732	2,818	2,879	2,912	2,939	2,981	3,018	3,068	3,123

R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
2,588	2,634	2,691	2,807	2,878	2,952	3,047	3,149
2,608	2,646	2,689	2,790	2,840	2,899	2,961	
2,739	2,789	2,847	2,967	3,035	3,110		
2,896	2,949	3,011	3,143	3,219			
3,068	3,127	3,195	3,337				
3,191	3,274	3,365					



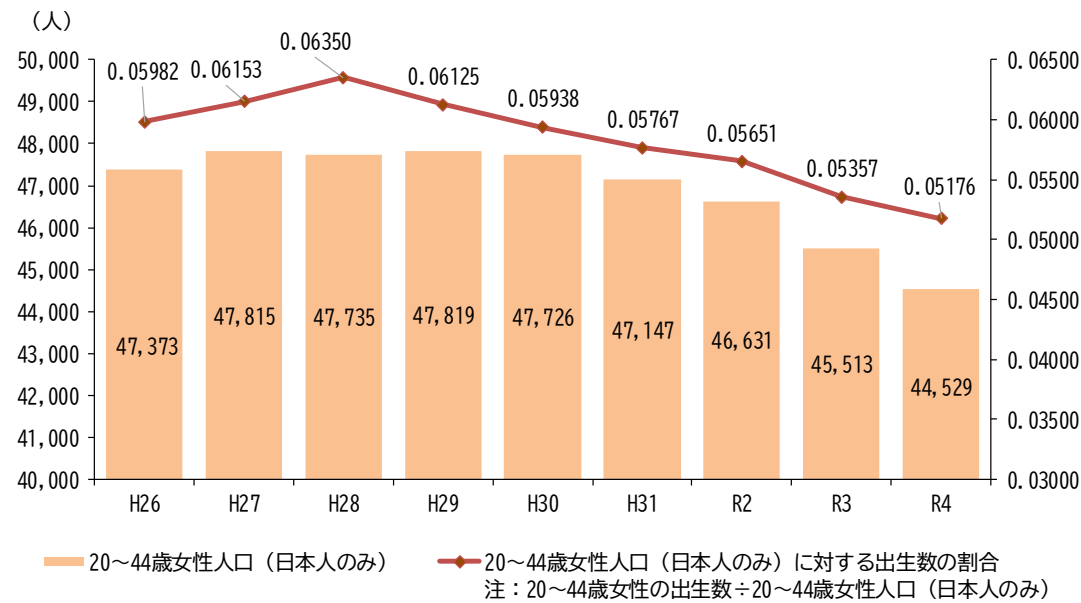
(参考)

■20～44歳女性人口（日本人のみ）

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
実人口	47,147	46,631	45,513	44,529	44,278	44,366			
推計【R6.3】						44,366	44,830	45,384	46,162
推計【R5.3】					44,278	45,371	45,703	46,156	46,769
推計【R4.3】				44,529	43,592	44,365	44,907	45,566	46,403
推計【R3.3】			45,513	44,722	45,062	46,313	46,820	47,552	48,359
推計【R2.3】		46,631	46,765	47,263	47,802	48,989	49,672	50,437	51,332
推計【H31.3】	47,147	47,344	47,356	47,549	47,825	48,196	48,554	48,985	49,546

R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
46,986	48,010	49,051	50,298	51,611	53,282	55,081	56,996
47,419	48,235	49,053	50,068	51,109	52,550	54,038	
47,311	48,419	49,546	50,883	52,295	54,035		
49,229	50,350	51,579	52,946	54,420			
52,315	53,472	54,637	56,026				
50,193	50,992	51,685					

■20～44歳女性人口に対する出生数の割合



注：国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」では、従来15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比として算出していた子ども女性比を、今回の推計では20～44歳女性人口に対する0～4歳人口の比として算出していることから、本推計でも同様の年齢幅で推計した。

4 外国人人口

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
総人口	20,057	20,314	18,718	16,929	19,339	21,278	21,768	22,270	22,781
年少人口	2,471	2,449	2,222	1,904	2,207	2,526	2,624	2,747	2,855
生産年齢人口	16,606	16,830	15,427	13,930	15,886	17,403	17,718	17,985	18,289
老年人口	980	1,035	1,069	1,095	1,246	1,349	1,426	1,537	1,637

R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
23,294	23,827	24,354	24,873	25,401	25,926	26,446	26,963
2,959	3,086	3,180	3,293	3,403	3,502	3,633	3,745
18,582	18,858	19,166	19,472	19,775	20,059	20,321	20,610
1,754	1,884	2,008	2,108	2,223	2,365	2,491	2,608

注：日本人で用いたコーホート要因法と異なり、外国人人口はコーホート変化率法で推計した。黒字は実人口、赤字は港区人口推計（令和6年3月）推計結果

